

エッセイ、短歌、小説など、幅広い分野で活躍する 注目の作家・くどうれいん 待望の食エッセイ!



やはり湯気の前に立つと、ああ、生きていると思う。

これまでよりもずっと自分の暮らしに

(いいじゃん)(こんなもんじゃん)

と思えるやわらかい夜が増えた。

三十歳になって厨に立つと、十代のわたしも

二十代のわたしも横に並んでいるような気がする。

書き下ろしや河北新報での東北エッセイ連載
などを加えた、心にひびく48編を収録。

湯気を食べる くどうれいん



湯気を
食べる
くどう
れいん

人生に余裕があるから自炊をたのしんでいるのではない。
余裕がない人生のなかで、自分の人生に納得するための
その手段が自炊だった。